

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第3週の発生動向

全数報告の感染症 (3週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症：つつが虫病 2 例。5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 7 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核	なし
			80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		延岡	70歳代	男	粟粒結核	胸痛、食欲不振、倦怠感
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日南	70歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1VT2)
4類	つつが虫病	都城	80歳代	女	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
		小林	50歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、肝機能障害
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 梅毒	宮崎市	50歳代	男	—	ショック、腎不全、軟部組織炎
		宮崎市	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	梅毒性バラ疹
		都城	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	ゴム種、口腔内潰瘍

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は3,409人(定点当たり69.1)で、前週比129%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は932人(16.1)で、前週比144%と増加した。日向(25.2)、延岡(24.9)、小林(22.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

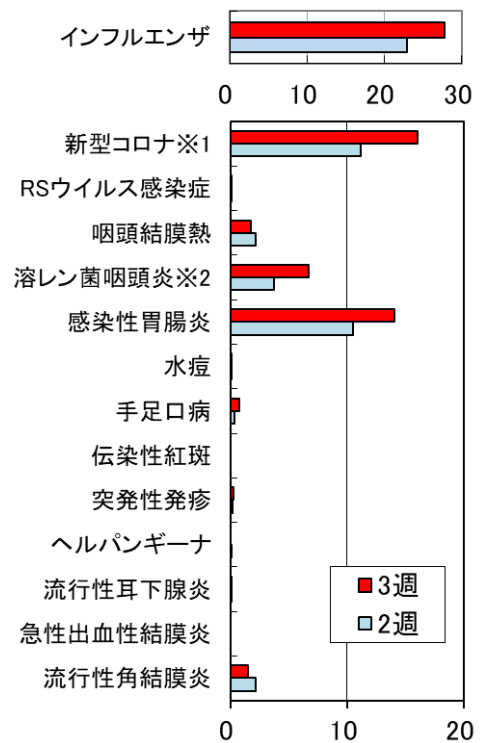
報告数は1,613人(27.8)で、前週比121%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(18.9)の約1.5倍であった。小林(37.8)、宮崎市(32.5)、日向(31.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約7割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は242人(6.7)で、前週比178%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.0)の約3.4倍であった。宮崎市(13.3)、中央(9.0)、日南(6.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は4歳から7歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

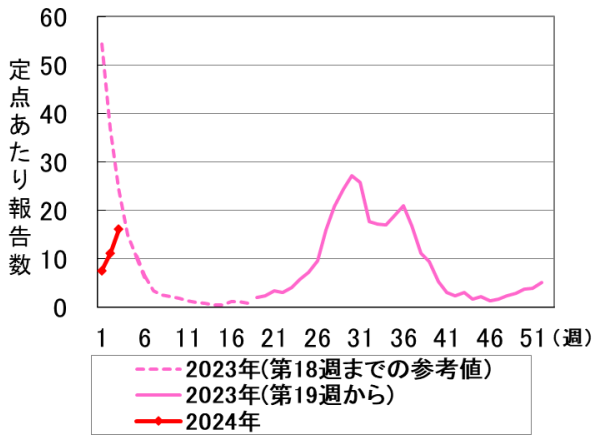


定点あたり報告数

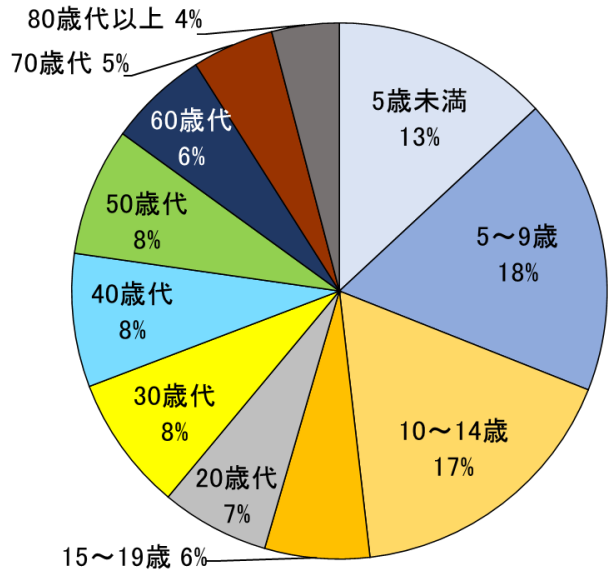
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

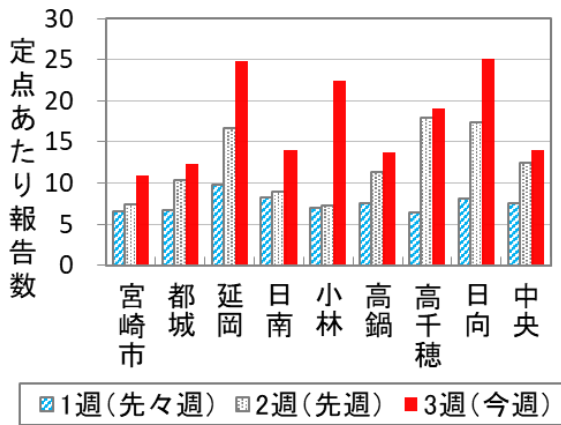


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第3週)

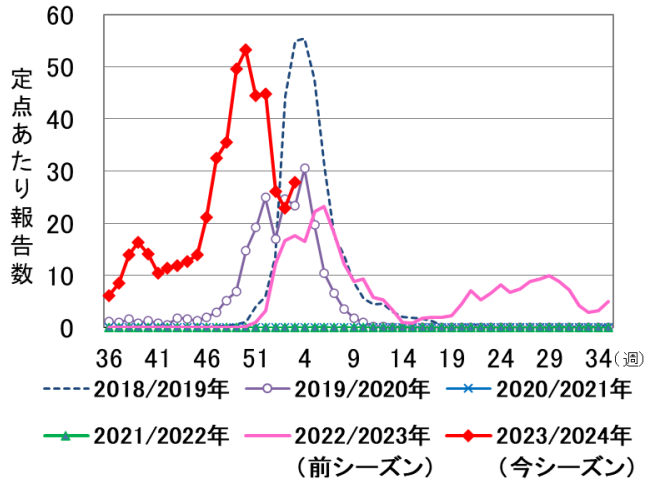


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

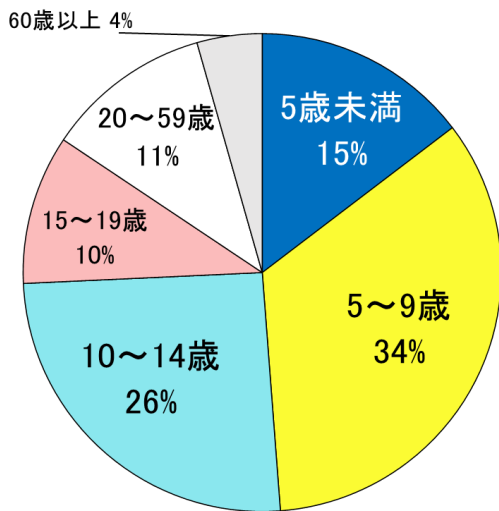
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



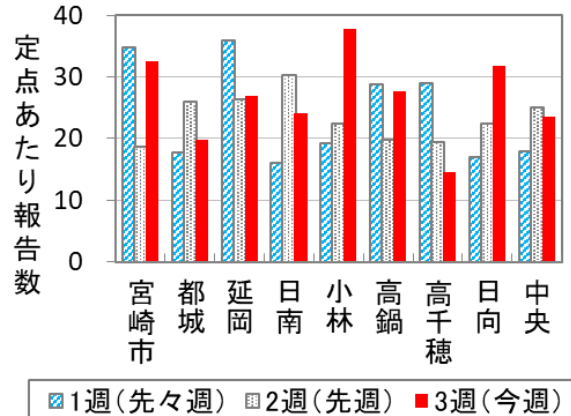
インフルエンザ 発生状況



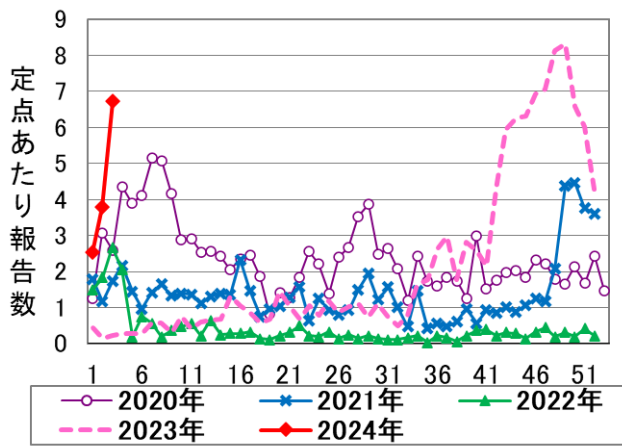
インフルエンザ年齢群別グラフ(第3週)



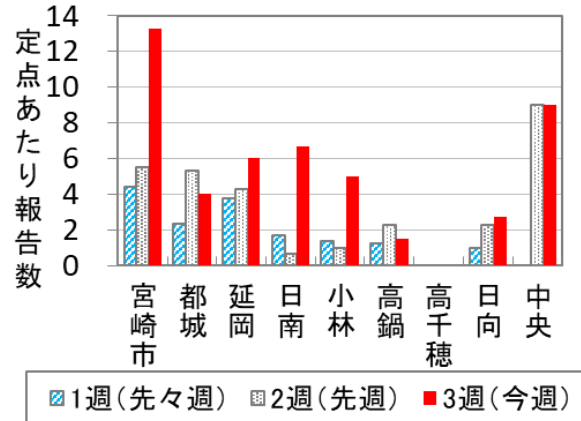
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(32.5)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(13.3)
都城	インフルエンザ(19.9)
延岡	インフルエンザ(27.0)
日南	インフルエンザ(24.2)
小林	インフルエンザ(37.8)、咽頭結膜熱(3.7)、 感染性胃腸炎(22.0)
高鍋	インフルエンザ(27.7)
高千穂	インフルエンザ(14.5)
日向	インフルエンザ(31.8)
中央	インフルエンザ(23.5)、咽頭結膜熱(8.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)、 感染性胃腸炎(45.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 令和6年1月22日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:H7)	20歳代	男	2023.12.19	発熱(39.0°C)胃腸炎(水様性下痢)	便	2023.12.28

★ウイルス

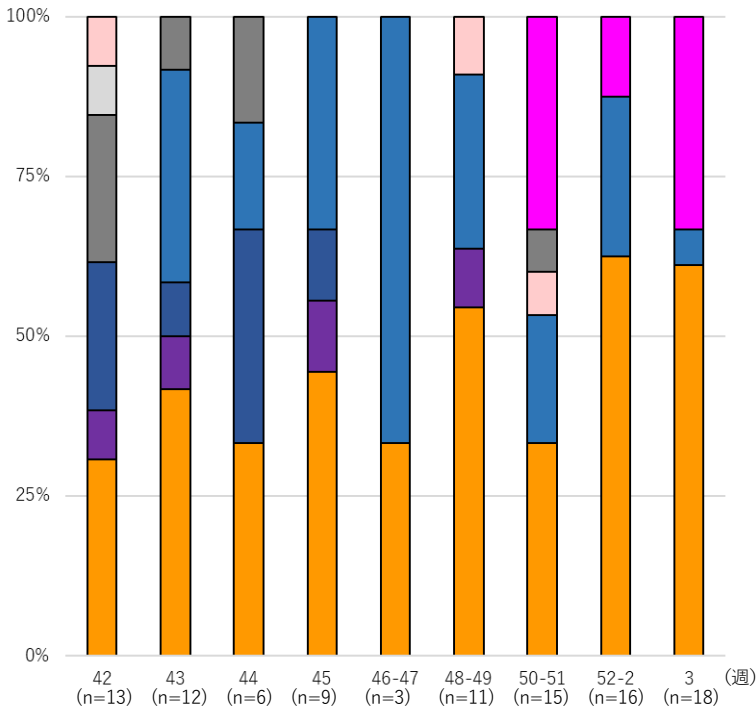
同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Adeno virus3	0～4歳	男	2023.11.02	不明の発疹症、39.4℃、紅斑、結膜炎	咽頭ぬぐい液	2024.01.11
Influenza virus A H1pdm09	5～9歳	男	2023.11.13	インフルエンザウイルスA型、39.0℃、上気道炎	鼻汁	2024.12.19
Influenza virus A H3	30歳代	男	2023.11.29	インフルエンザウイルスA型、39.2℃、頭痛、関節痛、咳、痰、鼻汁、倦怠感、息苦しさ	鼻咽頭ぬぐい液	2024.01.10
Influenza virus A H3	5～9歳	男	2023.11.29	インフルエンザウイルスA型、38.5℃	咽頭ぬぐい液	2024.01.10
Influenza virus A H1pdm09	50歳代	男	2023.12.04	インフルエンザウイルスA型、39.0℃、咽頭痛、咳、頭痛、鼻水、倦怠感	鼻咽頭ぬぐい液	2024.01.10
Influenza virus A H3	10歳代	女	2023.12.04	インフルエンザウイルスA型、40℃、気管支炎、咽頭痛	鼻汁	2024.01.10
Influenza virus B (Victoria lineage)	10歳代	女	2023.12.16	インフルエンザウイルスB型、39.4℃、咽頭痛、頭痛	咽頭ぬぐい液	2024.01.18

○本県において今シーズン（2023/2024 シーズン）初めてのインフルエンザB型（ビクトリア系統）が分離された。今シーズンにおいては、A型はA H1pdm09が15件、A H3亜型が15件分離、検出されている。昨年度は、A H3亜型が突出して多い傾向であったが、今年度は、A H1pdm09とA H3亜型が同程度分離・検出されている。

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合

- EG.5.1系統
- XBB.1.16系統
- XBB.2.3系統
- XBB以外のX系統
- BA.2.75系統
- XBB.1.9系統(EG.5.1を除く)
- XBB.1.5系統
- その他のXBB系統
- BA.2.86系統
- BA.5系統



○第3週でBA.2.86系統は約33%、XBB系統が約67%を占め、EG.5.1系統（XBB.1.9.2の子孫株）が約61%を占めた。

※BA.2.86系統はBA.2系統の亜系統で、スパイクタンパク質はBA.2系統に比較して30以上、XBB.1.5系統に比較して35以上のアミノ酸の違いがある。
「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。
XBBはBJ.1（BA.2.10.1系統）／BM.1.1.1（BA.2.75.3系統）の組換え株である。
ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。
衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2024 年第 2 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	209 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	16 例				
4類感染症	E型肝炎	4 例	A型肝炎	2 例	エムボックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	15 例	デング熱	4 例
	レジオネラ症	31 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	41 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	24 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	73 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	132 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	5 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週(年始含む)比 123%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は特になかった。

インフルエンザの報告数は 64,027 人(13.0)で前週比 103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(12.0)の約 1.1 倍であった。宮崎県(22.9)、沖縄県(22.1)、大分県(18.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約半数を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 44,178 人(9.0)で前週比 129%と増加した。岐阜県(14.3)、茨城県(14.2)、愛知県(14.2)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2024年 第03週(01月15日～01月21日)

疾病名		第02週	第03週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1328	1613	520	199	189	121	151	166	29	191	47
	定点当り	22.90	27.81	32.50	19.90	27.00	24.20	37.75	27.67	14.50	31.83	23.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	646	932	175	124	174	70	90	82	38	151	28
	定点当り	11.14	16.07	10.94	12.40	24.86	14.00	22.50	13.67	19.00	25.17	14.00
RSウイルス感染症	報告数	4	1				1					
	定点当り	0.11	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	77	63	18	11	5	2	11	4		4	8
	定点当り	2.14	1.75	1.80	1.83	1.25	0.67	3.67	1.00	0.00	1.00	8.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	136	242	133	24	24	20	15	6		11	9
	定点当り	3.78	6.72	13.30	4.00	6.00	6.67	5.00	1.50	0.00	2.75	9.00
感染性胃腸炎	報告数	379	507	162	89	31	33	66	49	3	29	45
	定点当り	10.53	14.08	16.20	14.83	7.75	11.00	22.00	12.25	3.00	7.25	45.00
水痘	報告数	1	2	2								
	定点当り	0.03	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	13	28	3	7		5	1	4		6	2
	定点当り	0.36	0.78	0.30	1.17	0.00	1.67	0.33	1.00	0.00	1.50	2.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	6	11	2	3	1	2	2			1	
	定点当り	0.17	0.31	0.20	0.50	0.25	0.67	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1		1							
	定点当り	0.06	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	9	4	4	1						
	定点当り	2.17	1.50	1.33	2.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～3週 保健所受理分)

2類感染症	結核	4例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例(1)		
4類感染症	つつが虫病	11例(2)	レジオネラ症	2例
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	1例
			梅毒	13例(7)

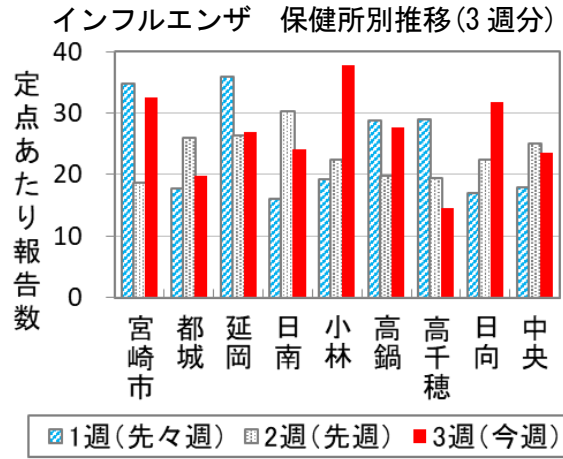
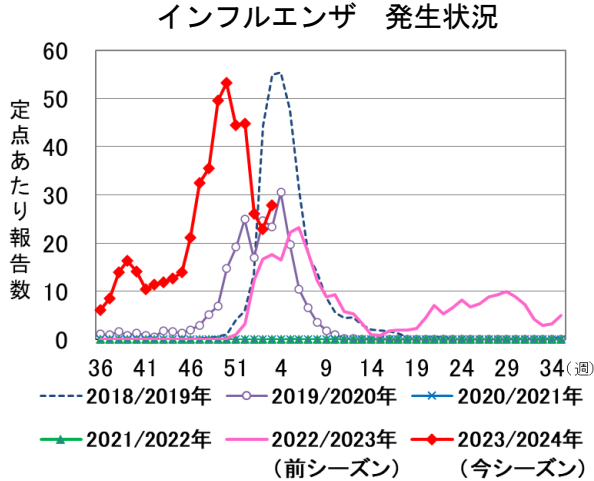
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第3週、全国第2週（再掲）》

□ 県内第3週インフルエンザ発生動向

1月15日～1月21日までの1週間で1,613人(27.8)の報告があった。前週比121%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*(18.9)の約1.5倍であった。

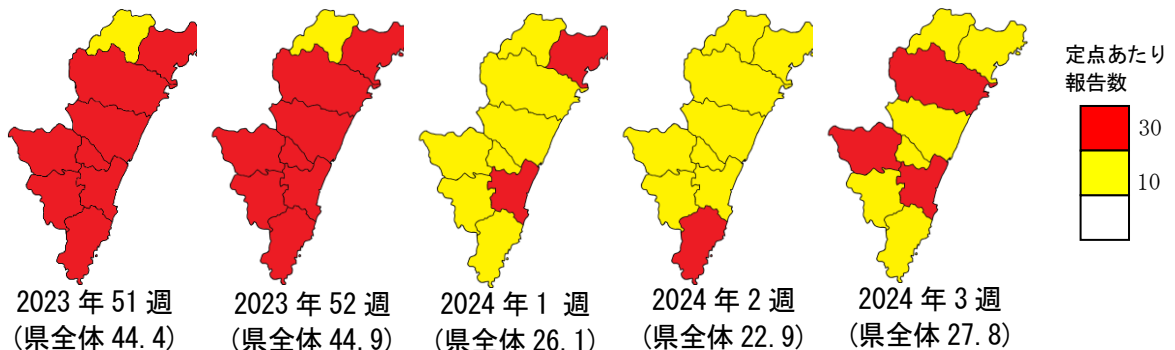
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



年齢群別割合の推移(2023年第51週～2024年第3週)

1,613人 3週	15%	34%	26%	10%	11%	4%
1,328人 2週	19%	23%	20%	6%	22%	10%
1,511人 1週	21%	18%	13%	6%	33%	9%
2,602人 52週	19%	25%	18%	10%	23%	5%
2,577人 51週	19%	29%	21%	9%	17%	5%
	□5歳未満	□5～9歳	□10～14歳	□15～19歳	□20～59歳	□60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2023年第51週～2024年第3週



□ 全国第2週インフルエンザ発生動向

1月8日～1月14日までの1週間で64,027人(13.0)の報告があった。前週比103%とほぼ横ばいで、宮崎県(22.9)、沖縄県(22.1)、大分県(18.5)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の17%、5-9歳が19%、10-14歳が14%、15-19歳が9%、20-59歳が33%、60歳以上が8%であった。